

令和4年度 うなかみ幼稚園関係者評価報告書

実践日	R5年3月9日	関係者評価を お願いした方	低年齢児クラス保護者 PTA役員 評議員
-----	---------	------------------	-------------------------

評価基準(達成状況)[A:十分に伝わった B:伝わった C:あまり伝わらなかった D:わからない]

R4年度重点目標		子供達一人一人の成長をくぼた式育児法を通して、保護者と一緒に考える			
視点項目	視点項目の目標	取り組む課題	学年	評価	今後に取り組む課題の提案
学校経営	くぼた式育児法の親子教室充実を図り、指導法の研鑽に努める	教材研究をし、よりよくくぼた式の教育にそぐった環境を整備する。園外の乳児を対象にした親子教室開き、指導方法を研究する。	0・1歳	B	園外の乳児を対象としたい親子教室を開いていることを、解るようにして欲しい。捨身とか使って解るようにして欲しい。
		2歳児用知能教材の研究と個人指導から集団指導への移行方法を研究する。	2歳	B	園外の乳児を対象としたい親子教室を開いていることを、解るようにして欲しい。捨身とか使って解るようにして欲しい。
		3歳以上時の保育の中に、くぼた式育児法で目指した能力開発を継承し、脳神経の髄鞘化を促す、環境や、教材を研究する。	年少 年中 年長	B	取組んでいる課題を見る機会が無い。
保育力	くぼた式育児法の発達スケジュールに合わせ、日々の保育の中で、経験を確実に積み重ねてゆく。個々の幼児の指導ポイントを、保育者同士で共有し、保護者も一緒に、一貫性を持って取り組む。	クラス担任同士が、くぼた式育児法の情報を共通意識し、一貫性を持って取り組んで行く。	0・1歳	A	久保田式は、育児の参考になり、先生方に、様子を聴けるのが良かった。写真等でもっと具体的に知りたい。
		保護者に、個人面談や日々の降園時間を使い、くぼた式のカリキュラム課題を伝え、家庭でも取り組んでもらえる様にする。	2歳	A	先生達が、意図を持って取組んでいる旨の、説明がないので分かりづらい。園頼りによる「くぼた語録」のコーナーは、参考になる。
		姿勢保持、身体の協応、運筆、箸の課題を、日々の生活の中で意識した保育をし、家庭と協力して取り組む。	年少 年中 年長	A	くぼた式の参観日を設けて欲しい。くぼた式の発達スケジュールを教えて欲しい。家庭で出来ることを、教えて欲しい。
連携	くぼた式育児法の指導の様子や考え方が、保護者に理解してもらえる様に伝え、家庭でも取り組める様、つながりを模索して行く。	保護者に登降園時や面接、クラスだよりで、実践の様子を伝える。	0・1歳	A	取組んでくれている事は解るが、もっとやっている事を内容が知りたい。
		衣服の着脱、食事、排泄、会話、子供達の日常生活の中に、くぼた式育児法の課題は、隠れていることを伝え、家庭でも取り組める様、保護者に登降園時や面接、クラスだよりで、意識を高める。	2歳	A	子供に身についた実感があった。先生達が取組んでいる事が分かりづらい。
		保育参観、園だより、クラスだより、個人面談等の機会を積極的に利用し、くぼた式育児法の教育効果と、知能教育の重要性を伝えて行く。	年少 年中 年長	A	くぼた式が具体的に解らないので、どうゆうものなのか、教えて欲しい。

考察

園の保育に、くぼた式育児法を取り入れたことにより、保護者の教育に対する関心が一層強くなっている。我が子に対する育児に、取り入れたいと考える保護者も、多くいるように感じる。